



俺だっ！レーシング

2023/5/13-5/14

コースコンディション: Rd.1 ドライ

Rd.2 ウェット

コース: 奥伊吹モーターパーク(滋賀県)

●サマリー

2022 年シリーズは最終戦へのスポット参戦のみと、凍結状態にあったエヴァンゲリオンレーシングが 2023 年シリーズへのフル参戦を発表。5 月 13 日、14 日におこなわれた D1 グランプリ Rd.1 & Rd.2 に「エヴァ RT 式号機 スープラ」で姿を現し、再始動を果たした。チーム名は「ウエイnstヨタ 神奈川 俺だっ！レーシング」。エヴァンゲリオン式号機を彷彿させる真っ赤なスープラを駆るのは、D1 ドライバーとしては異例のオーディションによる大抜擢となった、D1 初参戦、D1 ライツ 2022 ランキング 3 位の最上弦毅(げんき)。時田雅義総監督、手塚強アドバイザーという盤石の布陣で 1000 馬力 にまでパワーをアップさせた 2JZ を搭載したエヴァ RT 式号機スープラで若手育成という新たなチャレンジに尽力する。



●レポート

今季、開幕戦の会場となったのは滋賀県にある奥伊吹モーターパークで、コースレイアウトは昨年同様。最初の振り出しと2回の振り返りの鋭さ、そして各コーナーの角度の大きさと安定性が要求されるテクニカルなレイアウトとなっているが、ウエインズトヨタ神奈川 俺だっ！レーシング、最上、共に初走行となるため、継続参戦ドライバーとのアドバンテージを埋め、どこまで合わせ切れるか、その手腕に期待したいところである。



5/13 Rd.1

雨予報を跳ねのけ、ドライコンディションで行われた A グループの単走。最上にとっては正真正銘の D1 デビュー戦となる単走 1 本目、1 コーナーに向けてコース幅をギリギリまで使ったキレのある振り出しと安定感ある走りで、大迫力ドリフトを披露。振り返りの勢いが足りずゾーン3を僅かに外すも、全体的には上手くまとめた印象で、得点は 95.0 点とデビュー戦 1 本目としては上々の滑り出しとなった。



続く単走2本目。1本目のミス挽回するため、さらにアグレッシブにコースに飛び込んだ最上は、勢い良く振り出すとコースアウトギリギリを攻める迫力ある走りで観客を圧倒するも、勢い余ってセクター4で後輪を脱輪させてしまう痛恨のミス。得点は93.6と健闘するも、デビュー戦は23位で単走敗退という悔しい結果となった。



5/13 Rd.2

前日とは打って変わって、暴風雨という荒れた天候の中、ウェットコンディションでの開催となった第2戦。コースレイアウトは前日と同様だが、雨天特有の刻一刻と変化するコンディションが考慮され、全体上位16名が追走に進出できる通常のレギュレーションではなく、各グループの上位4名が追走に進出する方式が取られることとなった。最上にとっては初のウェットコンディションで、練習走行では苦戦する様子を見せていたものの、決勝本番までにはキッチリとセットをまとめ上げ、その適応能力の高さを披露する。



まずは追走への進出を目指す最上は単走1本目、かなり慎重なドライビングでコースをキッチリトレースしていくも、コースイン直後のフェイントが安定感不足と判定されると同時に、ゾーン1外しの減点を取られてしまい、得点は88.1と沈む結果に。追走進出に向けて後の無い最上は単走2本目、1本目と同じく慎重にコースに飛び込むも、1コーナーに向けた振り出しをコントロールしきれず、ハーフスピンを喫してしまう。その後も体勢を立て直し、何とかゴールを目指すもセクター5でのコースアウトなど、国内最高峰カテゴリの洗礼を受け、得点は41.0点。短期間でコース状況にマシンを合わせ込むポテンシャルの高さは垣間見せたものの、デビュー戦となる2戦共に追走への進出は叶わなかった。



俺だっ！レーシングがメンテナンスを手掛けるウエイズトヨタ神奈川 俺だっ！レーシングは、新体制となり、若手育成という新たなチャレンジをスタートさせました。

新体制でのデビュー戦となる今回は、2大会とも単走敗退とポイントを獲得することができませんでしたが、D1ライセンスからステップアップした最上の走りは十分にD1でも戦える可能性を感じさせてくれるものとなっています。次戦は、6月24日・25日に開催される第3戦&4戦TSUKUBA DRIFT。引き続き、俺だっ！レーシングへの応援を、よろしくお願いします。

●最上(ドライバー)コメント



今回は、初めての D1GP とのこともあり、まずはベスト 16 を目指して走りましたが、結果としては 2 戦とも、単走敗退となりました。この結果はとても悔しいですし、反省点もたくさんありますが、木曜日の練習日から比べると走りは格段に良くなっていて、まだ十分とは言えませんが、セッティングもドライ、ウェット共に沢山試すことができ、自分の走りやすいセッティングの方向性も見えてきましたので、今回の経験を生かして、次戦の筑波ラウンドでは、ベスト 16 に残り、追走で勝てるようにしっかりと準備して挑みたいと思います。

●2023 年ポイントランキング

[illegible]